

おかちまち  
たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第4号

令和7年7月18日(金)

校長 福沢 俊之

TEL 03 (3831) 3787

学校ホームページ



7月



<https://www.taito.ed.jp/1320111>

↑更新中

## 自分の進路を自分で決めるために

校長 福沢 俊之

今年度も「台東区立中学校進路フェア 2025」は、台東区立中学校7校のPTAの方々にご尽力いただき、都立・私立高校、高等専修学校、サポート校など、129校が一堂に会して、7月5日(土)に東京都立産業貿易センター台東館で開催されました。本校では昨年度から、「自分の進路は自分で決める」という目標を改めて生徒と共有し進路指導に当たっています。そのために、中学校3年間でどのような指導や支援を行っていくか、具体的に考えていかなければなりません。

例えば、「進路先について知る」ことが必要になるでしょう。進路フェアはそのよい機会であると思っています。昨年度は3年生に必ず行くように伝えましたが、今年度は2年生に同じように伝えました。来場していた3年生からは、「直接、高校の先生から話を聞くことができ、イメージが膨らみ、目標がはっきりしてきた。」「(進路フェアへの参加について)2年生では少し早いかなと思っていたけれど、目標をもって勉強しようという気持ちになるのは2年生からの方がよい。」といった声を聞きました。進路選択に先立つものは、学習評価ではなく「なりたい自分」を見つけることでしょう。したがって、中学校生活にも慣れて、8月末には職業体験学習、3学期に向けて「立志のつどい」の作文も書く2年生が、進路フェアでいろいろな高校等について知り、将来を考えるきっかけにすることは意味のあることであると思っています。

また「自分の進路を自分で決める」ためには「自分を知る」ことも必要です。本校では、学校行事ごとに作文やワークシートを使って振り返りを行っています。生徒の成長があってこそその学校ですから、生徒はよりよく変わっていく、そのような自分の変化を自身で実感してほしいと願っています。その過程で、自分は何が好きなのか、自分は何に向いているのか、自分のよいところ、強みは何か、を考えてほしいと思っています。

そして、「自ら学ぶ」習慣を身に付けることです。ではなぜ学ぶのか。先日、本校の第二代校長、関本恵一先生にお話を伺う機会があり、映画監督でありタレントでもある北野武氏の「勉強するから、何をしたいか分かる。勉強しないから、何をしたいか分からない。」という言葉を紹介していただきました。私は、中学校で学ぶ9教科10科目には、人の生き方に関わる内容が網羅されていると思います。勉強をしてそれぞれの教科に対して「好き」「嫌い」「得意」「苦手」を感じたとすれば、その次には「得意を伸ばす」にしても「苦手を克服する」にしても、自分の可能性を追求し「自分が本当にやりたいこと」への道を切り開くことにつながり、「自分の進路を自分で決めた」という自信と責任も伴ってくると思います。

生徒のみなさんにとって学びの多い充実した夏休みになることを期待しています。

# 1 学期表彰生徒

## ソフトテニス部

○第79回 台東区中学校体育大会

男子団体戦 準優勝

女子団体戦 優勝

女子個人戦 第3位 (3年2組

、3年3組

)

東京都大会出場!

## バレーボール部

○台東区夏季二次予選大会男子 準優勝、第5ブロック大会3位

○台東区夏季二次予選大会女子 第3位

## 第18回全日本ジュニアテコンドー選手権大会東日本地区大会

中学生男子 -53kg級 第3位

3年1組

## 令和7年度 歯と口の健康に関する標語コンクール

歯科医師会賞 3年2組

2年2組

佳作 3年3組

3年3組

2年1組

2年1組

1年1組

1年2組

1年3組

「あなたの歯 未来の自分の 宝物」

「うっ歯っ歯 ばいきんばいばい 歯はきれい」

「歯を磨き 健康寿命 伸ばそうよ」

「歯みがきを している君は MVP」

「自分の歯 自分のせいで 失うよ」

「歯みがきは 歯と口のための 自己防衛」

「素晴らしい毎日は素歯らしい歯から。」

「歯みがきも 勉強も 運動も 毎日するのが大切です」

「歯だってね あなたの体 大切に」

## 令和7年度 歯の優良生徒

優良者 3年1組

3年2組

3年3組

## 令和7年度 台東区ビーチボール大会 ジュニア杯

◆中学生男子の部 優勝

3年1組

、3年2組

、3年3組